

略 歴 書

(公表用)

| | |
|-----------------|--|
| (ふりがな) 氏 名 | (ばばよう) 馬場 陽 |
| 学歴・取得学位 | 2004年 3月 同志社大学法学部卒業 2007年 3月 名古屋大学法科大学院修了 法務博士(専門職) |
| 職歴 | 2009年10月 弁護士登録(～現在) 2021年11月 東海学園大学特任講師(～現在) |
| 業績 | <p>(著書、論文、判例評釈・翻訳等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森際康友編『法曹の倫理(第3版)』(名古屋大学出版会、2019年)第1章3節、第4章、第7章1節、第9章2節(共著) ・二宮周平編代『実践離婚事案解決マニュアル』(日本加除出版、2020年)233-256頁 ・三木義一監修『新・実務家のための税務相談 民法編(第2版)』(有斐閣、2020年)119-122頁 ・「所得の論証—租税訴訟における事実と評価の分掌」税法学 586号(創立70周年記念号)505-531頁(2021年) <p>(講演・口頭発表等、学会・社会活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「依頼の承継と対価の授受—『弁護士の花道』各論としての弁護士職務基本規程13条」シンポジウム「弁護士業務の承継と依頼者—職務基本規程13条の再検討」(2022年10月22日) ・「花道の舞台裏—退出に伴う弁護士倫理上の諸問題と弁護士会の役割—」シンポジウム「弁護士の花道と依頼者—高齢化社会における弁護士会の役割」(2021年3月7日) ・「固定資産の価格をめぐる攻撃防御の構造—行政裁量論の視点から—」日本税法学会第110回全国大会(2020年11月21日) ・「特定質問」法曹倫理国際シンポジウム東京2020「守秘義務と公益」(第Ⅱ部「『守秘と公益』の実務」)(2020年3月7日) <p>(実務実績〔取扱業務等〕)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋高等裁判所 令和3年4月22日判決(令和2年(ネ)第701号・令和2年(ネ)第826号)(判例時報2526号29頁、D1-law判例ID:28292424、Westlaw Japan 文献番号2021WLJPCA04226003) ・名古屋地方裁判所 令和3年2月26日判決(平成31年(ワ)第111号)(D1-law判例ID:28291245、Westlaw Japan 文献番号2021WLJPCA02266012、読売新聞2月27日朝刊、毎日新聞3月1日朝刊、WEB 労政時報(https://www.rosei.jp/readers/article/79738)) ・名古屋地方裁判所 令和2年9月24日判決(平成30年(ワ)第3956号)(判例時報2926号33頁【参考収録】、D1-law判例ID:28292423、Westlaw Japan 文献番号2020WLJPCA09246012) |
| プロフィール (URL) | |

※ ご所属の事務所等の個人紹介ページに上記事項が記載されている場合には、プロフィール欄に当該ページのURLをご記入頂き、「プロフィール参照」と記載して頂ければ結構です。